

青森市総合計画 基本構想（案） 【概要版】

令和6年6月13日
総務企画常任委員会
【資料】

基本構想策定の目的

本市が将来に向けて目指すべき姿を市民と共有し、多様化・複雑化する地域課題の克服に向け、社会情勢の変化に的確に対応しつつ、市民意見を反映しながら、総合的かつ計画的な行政運営を図る

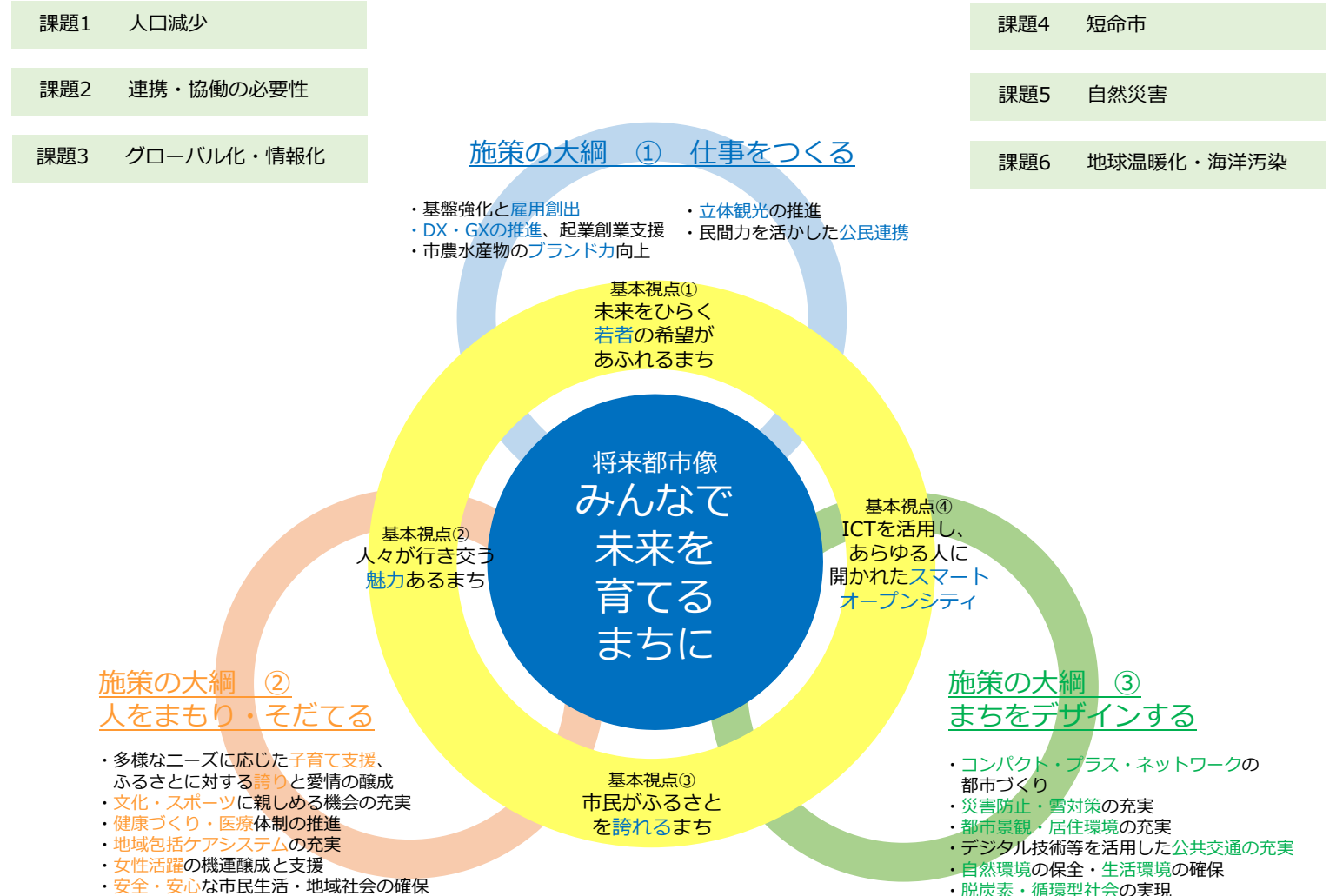
基本構想の期間

令和6年度から令和15年度までの10年間

青森市の特性

- 〈人口〉 275,192人（2020年国勢調査）
- 〈自然〉 陸奥湾、八甲田連峰、梵珠山など
- 〈気候〉 冷涼型、特別豪雪地帯
- 〈都市機能〉 交通・行政・経済・文化の中心
- 〈産業構造〉 第3次産業に特化
- 〈祭・芸能〉 ねぶた、浪岡北畠まつりなど
- 〈名所〉 八甲田連峰、浅虫温泉、酸ヶ湯温泉など
- 〈史跡〉 三内丸山遺跡、小牧野遺跡など
- 〈著名人〉 棟方志功、淡谷のり子、三浦雄一郎など
- 〈名産品〉 りんご、コメ、ホタテ、ナマコなど
- 〈施設〉 フ・ラッセ、中世の館など
- 〈公園〉 合浦公園、野木和公園など

本市の直面する諸課題 将来都市像 まちづくりの基本視点 施策の大綱 【概念図】



政策を実現するために

1. 人材確保・育成と職場環境の整備による組織力向上
2. 行財政改革による行政の進化
3. 健全な財政運営
4. 積極的な情報発信・市民の声を市政に反映
5. SDGsの理念を踏まえた各種施策の展開